

2014年12月5日
トヨタホーム株式会社

愛知県安城市で安全、安心の街づくり 総戸数148戸の大型分譲、12月7日販売開始 ～ ラウンドアバウト形状の道路と豊かな植栽で彩る美しい街並み ～

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1-23-22、取締役社長 山科忠）は愛知県安城市和泉町に総戸数148戸の大型分譲地を開発し、12月7日（日）から販売を始めます。街区のメインゲートにはラウンドアバウト形状の道路を設置し、車のスムーズな通行を促すとともに、シンボリックな景観を形成します。また、各戸は「まちなみガイドライン」に沿って外構を整備し、ラウンドアバウトからつながる緑豊かな街を作り上げます。



<完成予想図>

街区には2つの公園とつながる緑道を設け、コミュニティースペースとして活用できるほか、風の通り道にもなり、心地よい環境を作り出します。また全戸にホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）、EV・PHV用充電器などトヨタホーム独自のスマートハウスアイテムを標準装備するとともにホームセキュリティーシステムを導入して安心・安全の暮らしを支えます。

トヨタホームは今後もお客様の幅広いご要望にお応えし、「建てる時の安心」「建てた後も安心」「支える安心」の三つの安心をお届けしていきます。

□ 分譲地の特徴

1. ラウンドアバウト形状の道路を配置

- ・交通円滑化を支援し、重大事故減少に貢献
- ・中央緑地帯に樺を植えてシンボリックな景観を演出

2. 安全・安心の街

- ・HEMS、EV・PHV用充電器、電気錠「ラロック」、日射制御シャッター「エアリーガード」などトヨタホーム独自のスマートハウスアイテムを標準装備、賢い生活を支援
- ・全戸にドアの開閉を知らせるセキュリティーシステムを導入
- ・災害に備えて、街区内の公園に簡易トイレと井戸を確保

3. 緑が彩るパッシブデザインの街並み

- ・街区内の二つの公園とつながる緑道を設置。
コミュニティスペースとしても利用が可能。
- ・街区内の緑道は風の通り道になり、快適な暮らしを演出。
- ・「まちなみガイドライン」により統一した外構プランで、美しい街並みを形成。



<完成予想図>

□ 「安城和泉」の概要

所在地	愛知県安城市和泉町井ノ上3番1 他
第1期販売日	2014年12月7日（建築条件付き）
交通	名鉄西尾線「桜井」駅 約3.2km 市営あんくるバス「庄司作」停 約170m
総開発面積	36,394.74㎡
総区画数	148区画
第1期販売区画数	20区画
1戸当たり敷地面積	160.32~186.29㎡
用途地域	工業地域（建ぺい率60%、容積率200%）
土地販売価格	1,692万~2,077万円
売主	トヨタホーム株式会社
販売代理	トヨタホーム愛知株式会社、トヨタホーム名古屋株式会社 トヨタすまいるライフ株式会社（2期以降）



<周辺地図>



<分譲区画図>